

日本大学三島高等学校 同窓会会報

Vol. 48・49

2020.3.7



60期生を迎える、ワンチームで前進を

会長 日置 信弘
第3期生 (富士支部)

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げますとともに、平素より同窓会活動にご理解ご支援ご協力を賜っておりますことに衷心より感謝申し上げます。

昨年度は入会式に同窓会報の発行ができず申し訳なかったと心を痛めていましたが今回、昨年度（第48号）と今年度（第49号）と併せての合併号としての発行の運びとなりました事に喜びと安堵を感じています。

昨年度、寄稿して頂いた方には恐縮しています。又例年の「支部だより」を掲載できず寄稿した方々には低頭するのみです。

改めて今年度が第60期生という節目の入会生を迎える事に当校の歴史と卒業生の人生を積みかさね、その歳月の重みを感じざるを得ません。卒業生のお孫さんも入学して来る星霜となりました。

学校をはじめ関係各位に感謝する次第です。

しかしながら、同窓会長として今回で五回目の挨拶文の寄稿をさせて頂くにあたり忸怩たる思いも脳裏をかすめます。

果たして、この同窓会報にどれだけの人達が目を通しているのだろうか？自分の思いを伝える事ができているだろうか？自分の考えは間違っているのではないか？同窓会とは何ぞや、自問自答する日々でした。

同窓生が増える度に組織も多様性を増し複雑化しコンセンサスが難しくなりますが、互いに同窓という意識の上に原点は同じと思うので、前向きな活動発展を目指し全員で頑張っていきましょう。

そして卒業生が1人1人同窓生として、卒業後も同じ3年間の学園生活を送った者としての共通の認識を持って、各人が行動し交流し相互に自己研鑽しプラスになる生活・人生になることを望みます。

結びに卒業後、多分野において指導的立場で活躍されている同窓の皆様方に敬意を表しますとともに皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げます。

当同窓会が今後とも充実発展する事を願い一層の尽力をする所存ですので、更なるご理解ご支援ご協力の程を宜しくお願ひ申し上げます。



ご挨拶

日本大学国際関係学部長
日本大学三島高等学校・中学校校長 渡邊 武一郎

日本大学三島高等学校同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は母校三島高等学校の発展のため、特段のご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今年度4月から数学の三田村好敬先生が豊山女子高等学から本校に異動され、国語の大槻真弓先生が専任教諭として本校教員スタッフに加わりました。それぞれの先生方には新しい力を存分に發揮していただき、日大三島高校・中学校のさらなる発展に寄与していただきたいと思います。

令和元年度は高等学校に570名の新入生を迎えました。残念ながら定員充足は叶いませんでしたが、全校生徒の総数は1,841名となり、静岡県有数の大規模校に変わりはありません。1学期に開催された桜陵祭では、大規模校ならではの多種多彩なクラスや部活動の発表・展示が行われました。また、体育大会では生徒たちの明るく元気な姿が躍動しました。

また、数年前にアメリカ大会にて優勝した応援部チアパートは、今年度も全国大会で優秀な成績を残し、アメリカ合衆国ケンタッキー州で行われた全米大会への出場権を獲得しました。そして、全米大会では見事に部門2位の成績を勝ち取りました。そして、今回のアメリカ遠征に際しては、同窓会からご援助をいただきました。同窓会の皆様の応援のお陰もあり、生徒たちは思う存分普段の練習の成果を發揮し素晴らしい結果を導き引き出すことができました。本当に有難うございました。

これから世界は、これまで以上に異文化に対する理解と寛容性、そして、それらとの共生が求められます。日本大学三島高校も「自主創造」の教育理念のもと、日本人としてのアイデンティティを涵養し、多文化共生社会を生き抜くことのできるグローバル人材を育てていきたいと考えます。その為にも教員が日々の授業、ホームルーム等、目の前にある当たり前の事柄に真摯に向き合い、きちんと生徒1人1人の顔を見る学校を目指しています。生徒たちの人生における貴重な3年間を預かる教育機関として、また生徒1人1人に直接向き合う教育者として、高い志を掲げ導き、生徒たちの夢の実現をサポートしたいと思います。

日本大学は本年度創立130周年を迎えました。創立記念日である10月4日には帝国ホテルにて記念式典が厳かに、そして盛大に挙行されました。桜師会からも多くの方々がご参加されたこと思います。130年前に学祖山田顕義伯爵により創設された日本法律学校を始まりとして、その後の130年間に於いて、日本大学は16学部、1通信教育部、19大学院研究科、短期大学部2校舎、11付属高校、5中学校、1小学校、1幼稚園、1こども園、そして4専門学校を擁する、まさに日本一教育力のある大学へと発展を遂げました。そして、130周年を契機に今後もさらなる躍進を続けていくことを確信しています。

今後の同窓会の益々のご発展と、同窓生の皆様のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



ギネス世界記録®町おこしニッポンへ挑戦



新入会員の言葉

新たな一步

生徒会長 田之倉 芽衣

3年間の高校生活を終えた私たち第59期生は、母校であるこの日本大学三島高等学校の同窓会に入会しました。

学年主任である大川先生を筆頭に、私たちは多種多様で革新的なことに挑戦してきました。1年次の「伊豆のお飛び子フォトコンテスト」をはじめとし、3年次の「ギネス世界記録®挑戦」は記憶に新しいです。新たな行事のたびに、第59期生はその力を発揮してきました。そして、この3年間で築き上げてきた経験やたくさんの友人、お世話になった先生方との関係は私たちにとって一生残る大切なものになりました。私はこの第59期生の一員として高校3年間を過ごし、同じ時をもって卒業を迎えることができたことをとても嬉しく思います。そして、この仲間と共に人生における新たな一步を踏み出せたことを誇りに思います。今後は、この日大三島の同窓生として、先輩方と同じような多くの社会貢献ができるよう、貢献するための準備を怠らないように努力していきたいと思います。

最後になりますが、母校であるこの日本大学三島高等学校の更なる発展に寄与できるよう、新入会員一同が尽力することを誓い、新入会員代表の挨拶とさせていただきます。



みごと ギネス世界記録達成

第59期生 代表一覧

代表
田之倉 芽衣 (20組)

— クラス代表 —

1組 ■ 井出 涼稀	11組 ■ 小野 達矢
2組 ■ 青木 倎生	12組 ■ 田澤 勇志
3組 ■ 谷本 晃輝	13組 ■ 並木 美伊
4組 ■ 斎藤 瑠	14組 ■ 人見 雄大
5組 ■ 岩澤 彩加	15組 ■ 関口 紗子
6組 ■ 山本 沙奈	16組 ■ 浅田 俊己
7組 ■ 西村 歩夢	17組 ■ 鈴木 亮介
8組 ■ 新藤 凜	18組 ■ 井上 華綸
9組 ■ 大川 優太	19組 ■ 小林 大瞬
10組 ■ 服部 智子	20組 ■ 山口 真生
	21組 ■ 會田 乃亜



新入会員を迎える

母校愛

第35期生 水口 透

『あなたは私の人生を大きく変えてくださいました。

あなたの胸に初めて飛び込んだ17年前の4月、満開の桜の中、紺のブレザーに身を包みドキドキしていた私をあなたはそっと包み込んでくれました。

その後3年間柔道部と勉学の両立に悩み苦しみながら、毎日あなたのものとに通いましたね。あなたは時に厳しくそして厳しく、やっぱり厳しく私を鍛え上げてくれました。私はあなたに出会えたから困難にも立ち向かうことができ、ひととして成長できたと思います。その感謝の気持ちをどのようにお返しできるだろうか。日々悩みました。公立中学校の教師としてあなたのものとへ教え子を送ることも考えました。しかし何か違うと感じ、煮え切れない自分がいました。そんな中、多くの方々の支援もあり、あなたのものとに戻り、あなたを直接盛り上げていけることになったのです。あなたのものとに戻るまで10年かかってしまいました。遠回りしてしまいましたが、65歳の定年を迎えるまで誠心誠意あなたの為に尽力していきたいと思っております。

感謝の気持ちと愛をこめて・・・。

日本大学三島高等学校第35期生 平成21年度1年10組
担任水口透』

この文は本校の50周年記念の時に母校日大三島に送ったラブレター?です。教師になるという夢は幼いころから持っていましたが、日大三島高校の教師になることは日大三島高校を卒業するまでは考えることもありませんでした。「私の人生を変えてくれた場所」日大三島は私にとってかけがえのないもの(場所)になりました。

さて、めでたく卒業を迎える第59期生の皆さん、日大三島はどのような場所でしたか。当然それぞれ様々な思いがあるでしょう。3年間毎日が充実し、最高のときを過ごせた人、思った事ができず悶々とした毎日を過ごしてしまった人、今の思いはそれぞれだと思います。そんな中、全ての皆さんに共通する大きなプラスがあります。それは「日大三島の卒業生」になったという事です。「ん??」という人もいるかもしれません、これから新たなステージに進んでいくとこの「日大三島の卒業生」という事は必ず皆さんの追い風や踏み台になってくれます。「日大三島の良さは卒業後、更に感じる」私は今も年を重ねるごとにこの事を実感しております。今はまだ実感できないと思いますが、皆さんにも必ず実感する日が来ます。間違いありません。母校のチカラは絶大です。これから同窓生として母校日大三島と共に愛し続けていきましょう。日大三島は皆さんを必ず大きな愛で包み込み続けてくれます。

卒業おめでとう。これからが楽しみですね。



新入会員の言葉

これからも

生徒会長 杉山 慎太郎

私たちが期待に胸を膨らませ、希望をもって入学した母校も遂に卒業するときがやってきました。

私たち第60期生587名は3年間という長いようで短い高校生活を終え、晴れて伝統ある日本大学三島高等学校の同窓会に入会します。これからは、友人と共に銀杏並木を通い、見慣れた校舎で授業を受けていた代り映えのない普段の生活が送れなくなると思うと、どこか物寂しく感じます。私たちは、このかけがえのない高校生活でたくさんの出会いと経験、数々の行事や学校生活を経て、大切にはぐくみ一生の思い出にしてきました。そんな母校の同窓会に私たちが、記念すべき60期生として入会できるのも、今までこの高校の伝統を築き上げ、学校を陰ながら支えてきた諸先輩方の存在があってこそだと思います。この学校を通して得たものに感謝をし、これからは少しづつではありますが、私たちもこの学校を支えていきたいと思います。

私たちは、これからもきっと多くの壁にぶつかり、多くの困難が待ち受けていることでしょう。しかし、私たちはこの3年間で培ってきた様々な経験を活かして、くじけることなく突き進んでいきたいと思います。



桜陵祭開会式にてあいさつ

第60期生 代表一覧

代表
杉山 慎太郎（5組）

クラス代表

1組 ■ 鈴木 祥大	11組 ■ 矢田 星矢
2組 ■ 杉山 瑞貴	12組 ■ 佐藤 悠生
3組 ■ 武田 佳子	13組 ■ 岩下琉之祐
4組 ■ 武内 直人	14組 ■ 井出 佳佑
5組 ■ 岩崎 彩音	15組 ■ 渡邊 真弥
6組 ■ 桐畑 翔	16組 ■ 原 弘忠
7組 ■ 新里 来耶	17組 ■ 佐々木敦寛
8組 ■ 大塚 彩瑛	18組 ■ 土屋 沙ら
9組 ■ 藤井 海斗	
10組 ■ 牧野 拓也	



新入会員を迎える

感謝

第48期生 上野 陽平

3年間の学校生活の中で、皆さん近くにいる学校の先生は、どんな仕事だと思いますか？授業をすること？部活動を教えること？どんなことを考えるのでしょうか。教師の仕事はたくさんのことがありますが、その中の一つに「卒業後のあなたのためにメッセージを伝える」ということがあります。この場を借りて、皆さんに最後のメッセージを送りたいと思います。

日大三島高校を卒業して12年が経ち、私は母校で働いています。12年前は桜アリーナもなく、人工芝グラウンドもなく、こんなにきれいな校舎ではありませんでした。母校と言っても私が高校生の時と比べると、日大三島の雰囲気はとても変わったと感じています。高校生の自分を振り返ってみると、本当にどうしようもない生徒だったと思います。後悔していることがたくさんあります。「なぜあの時、このような行動をとってしまったんだろう」、「なんでこんなことを言ってしまったんだろう」と当時の自分を恥ずかしく感じことがあります。今なら、人の気持ちを理解し、このような言動をとれるのに・・・と。

しかし、このように思えるようになったのは大人になることができたと同時に、本当の感謝の気持ちを知ることができたからです。そして、当時の自分は高校生らしい高校生だったので。素直になれなかつたり、人の気持ちを理解できなかつたりすることは、ある意味高校生らしい子どもしさもあります。そんな幼さに、何年後かに気付いたあなたは、大人になった証拠であり、本当の感謝の気持ちに気付くでしょう。

さて、これから卒業する皆さんにとって日大三島高校は母校になります。母校という言葉を聞くと、どんなイメージがありますか。母校というと学校や校舎のイメージが強いと思いますが、それだけではありません。母校とは学校生活を通じての友達・先輩・後輩・先生・思い出・友情などなど、目に見えるものから目に見えないものまで様々です。なぜ母校があるのでしょうか。私は母校とは帰るべき場所であると考えています。何年か時が経ち、大人になって成長した自分を感じた時、嬉しい気持ちや充実した気持ちを報告するために帰ることもあれば、想像を絶するような辛いことや苦しいことがあります。人の痛みを知り、助けて欲しいと帰ることもあると思います。学校も先生もそして皆さんも帰るべき場所です。嬉しいことをともに喜び、苦しんでいる人に手を差し伸べてあげができる場所であって下さい。これから的人生には様々な分岐点が存在します。立ち止まって悩んだ時に母校を思い出して下さい。必ず何年後かのあなたの役に立つはずです。

最後になりましたが卒業おめでとう！成長して大人になった皆さんに、また会えることを楽しみにしています。

「ギネス世界記録®町おこしニッポンに挑戦」

平成30年6月17日(日)、文化祭『桜陵祭』の2日目にギネス世界記録®町おこしニッポンに挑戦しました。挑戦内容は、「同時に食べさせ合いをした最多ペア数」の記録樹立です。当日は、三島市のご当地グルメ「みしまコロッケ」を同時に食べさせ合い、1980組・3960人が成功しました。

この挑戦は、本校創設60周年記念と、三島市の町おこしに貢献し、地元の良さを世界に発信することを狙いに、生徒会の生徒が主体となって企画されたものです。準備期間中は、監視員を募集するもなかなか集まらないなどの問題に追われました。そのため、生徒たちは三島駅前でイベントの紹介チラシ300部を配布し協力を呼びかけ、さらに各種メディアに出演するなど人員集めに奔走しました。

生徒たちの願いが大きく広がり、当日は多くのギネス挑戦者、企画運営に携わるボランティアが集まりまし

た。厳正な審査の後、成功の発表がなされたときの喜びはひとしおで、涙を流している生徒もいました。地域と学校のつながりが世界記録成功へと導き、三島市の町おこしに貢献し、みしまコロッケを世界へ発信できました。これからも地域と関わり合い、地域に貢献できる学校を目指していきます。



チアリーディング

本校応援部チアパートPinkyCherriesが2019年10月に東京・舞浜アンフィシアターで行われたJAMfest JAPAN vol.15 in MAIHAMAにてアメリカ大会の出場権を手に入れ、ケンタッキー州ルイビルで2020年2月8・9日に行われましたJamfest Super Dance Nationalsに出場しました。Varsity Pom 部門で1位と僅差の2位の成績を収めることができました!

今年のチーム目標である「aggressive」を胸に、生徒たちは攻めの姿勢で積極的に演技することを心掛けながら練習を続けてきました。現地での練習時間も少ない中、できる限りの力を振り絞った演技ができたと思います。

このチームは2016年全米大会でグランドチャンピオンにも輝くなど、現在も目覚ましい活躍をしているチームで、例年各種大会で上位入賞を果たしており、2020

年3月末に行われるUSA全国大会にも出場いたします。引き続き応援よろしくお願ひいたします。



同窓会役員一覧

役職	氏名	所属支部	役職	氏名	所属支部	役職	氏名
会長	日置 信弘(3期)	富士	常任理事	渡井 一信(12期)	富士宮	顧問	渡邊武一郎(校長)
副会長	庄司 一洋(7期)	沼津	参与	高木 弘之(1期)	沼津	//	久保田 光(1期)
//	西島 明彦(7期)	裾野	//	手島 正武(3期)	沼津	//	今井 信之(1期)
//	深澤 好幸(7期)	富士宮	監査	内田 敏明(3期)	田方	//	川口 功一(3期)
事務局長	国府方一吉(8期)	三島	//	勝亦 誠(3期)	御殿場	//	和田富巳子(4期)
会計	杉本 雅俊(3期)	沼津	支部名			//	石橋 倍子(4期)
常任理事	村上 直人(3期)	三島	小田原支部	裾野支部	事務局	木下 拓史(教員)	
//	佐野 勝己(4期)	三島	熱海支部	御殿場支部	//	白井 宏明(教員)	
//	藤池 年男(4期)	裾野	田方支部	富士支部	//	松本 慎(教員)	
//	石井 真澄(10期)	田方	三島支部	富士宮支部	//	高村 昭寿(教員)	
//	望月 重人(11期)	富士宮	沼津支部	静岡支部	(期順、五十音順)		

(平成30年4月1日選出)

第59期同窓会入会ガイダンス

1. 日 時
平成31年 2月21日 (木) 10時45分～11時
2. 場 所
桜アリーナ
3. 内 容

記念品贈呈	3年 7組 西村 歩夢
生徒代表挨拶	3年 20組 田之倉芽衣
表 彰 学業優秀	3年 20組 但馬 佑規
	3年 18組 澤口 彩



第59期入会ガイダンスの生徒

平成29年度

事 業 報 告 (平成29年4月～平成30年3月)

1. 総会 平成29年6月25日(日) 15:00～ 三島プラザホテル
司会 副会長 小澤 薫
- (1)開会の辞 副会長 庄司 一洋
- (2)会長挨拶 会長 日置 信弘
- (3)来賓挨拶
 - ・日本大学三島高等学校・中学校校長並びに
日本大学国際関係学部学部 学部長 渡邊武一郎先生
 - ・日本大学 佐野短期大学 学長 佐藤三武郎先生
 - ・議案 議長 副会長 深澤 好幸
- (4)議案
 - ①平成28年度事業報告 ②平成28年度決算報告
 - ③会計監査・事業監査報告 ④規約改正 ⑤役員選任
 - ⑥平成29年度事業計画案(承認) ⑦平成29年度予算案(承認)
- (5)報告事項
 - ①桜陵祭の件 副会長 庄司 一洋
 - ②ホームページの件 副会長 庄司 一洋
 - ③その他
- (6)閉会の辞 副会長 鈴木 真雄
- (7)懇親会 司会進行 御殿場支部長 杉山 和男
- ①開会の挨拶 常任理事 橋本 倭
- ②乾杯 参与 手島 正武
- ③新支部長挨拶 三島、裾野、小田原、富士宮の各支部長

- ④新任先生紹介 母校教員 白井 宏明
- ⑤新任先生各挨拶
- ⑥還暦のお祝い(16期生) 副会長 関 礼子
- ⑦抽選会 御殿場支部担当
- ⑧閉会の挨拶 常任理事 佐野 勝己
2. 会議
 - (1)本部役員会
 - ①平成30年1月26日(金) 三島プラザホテル(兼新年会)
 - (2)常任理事会
 - ①平成29年5月9日(火) ②平成29年7月13日(木)
 - ③平成29年9月6日(水) ④平成29年10月2日(月)
 - ⑤平成29年11月17日(金) ⑥平成29年12月6日(水)
 - ⑦平成30年3月31日(土) 平成29年度第8回常任理事会で日置会長が選任される 監査、会計が決まる
 - (3)本部事業
 - ①平成29年6月18日(日) 桜陵祭 食品店出店 三島支部担当
 - ②平成30年2月24日(土) 同窓会入会式・記念品贈呈式・表彰
記念講演会
講師 京都清水寺 貴主 森清範猊下
一字揮毫「学」
 - ④平成30年3月3日(土) 同窓会会報 Vol.47 発行

平成30年度

事 業 報 告 (平成30年4月～平成31年3月)

- (1)本部役員会・常任理事会
 - ①平成30年4月26日 第1回三役会(第1回本部役員会)
 - ②平成30年5月16日 第2回三役会(第2回本部役員会)
 - ③平成30年6月21日 第1回常任理事会
 - ④平成30年7月12日 第2回常任理事会(第3回本部役員会)
 - ⑤平成30年9月3日 第3回常任理事会
 - ⑥平成30年10月16日 第4回本部役員会(兼第3回三役会)
 - ⑦平成30年10月30日 第4回常任理事会
 - ⑧平成30年12月3日 平成29年度会計監査
 - ⑨平成30年12月6日 第5回本部役員会(懇親会、三島駅ビル内)
 - ⑩平成31年1月10日 第4回三役会
 - ⑪平成31年1月16日 第5回常任理事会
 - ⑫平成31年2月13日 第6回本部役員会

(2)本部事業

- ①平成30年6月17日(日) 桜陵祭
ギネス世界記録挑戦協力
食品店出店 小田原支部担当

校章について



いうまでもなく日本大学は、日本精神を基調とし、調和の原理と発展的思想による教育を理想とするものである。したがって、日本の象徴である桜花を校章とした主旨が理解できるであろう。

大學は万葉の桜、付属高校の校章は開花前のういいういしい姿を象徴し桜花を四つの若葉で囲んでいる。つまり、未完成の無限の力を秘めた若人の育つ社会、ということである。建学の精神の若い担い手の象徴であり、予科時代から受け継がれた伝統のある校章をこの際よく考えてみよう。



同窓会入会記念バッジ

第59・60期生同窓会 入会金の納入

日本大学三島高等学校同窓会では、第59・60期生の入会にあたり、同窓会規約にもとづいて、終身会費1万円を納入することをお願いしています。高校卒業時に、学校に納めた費用のうちより納入していただいているのでありますので、ご理解、ご了承いただきますようお願いします。

日本大学三島高等学校 同窓会会報 第48・49号

令和2年3月7日発行
発行者：日置 信弘
編集者：庄司 一洋
渡井 一信
山之内良司

〒411-0033 静岡県三島市文教町2丁目31番145号
TEL 055 (988) 3500 (高校事務課)
FAX 055 (988) 3517

印刷所：大和印刷株式会社

日大三島高校

検索

日本大学三島高等学校・中学校URL <http://www.mishima.nihon-u.ed.jp>

日大三島高校同窓会

検索

日本大学三島高等学校同窓会URL <http://www.nu-mishima-dousou.jp/>

※同窓会規約は本会ホームページをご覧下さい。